

## 令和5年度 県立境特別支援学校 自己評価表

No. 1

目指す学校像	◆一人一人が自ら行い自ら学び、できる喜びを感じることができる学校 「かがやく学校」 ◆学んだことを周りの人に伝え合い、分かち合うことができる学校 「ひびきあう学校」 ◆学校と地域が助け合い、認め合い、多くの人と繋がり合える学校 「つながる学校」		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレットや電子黒板の導入など、ICT環境の整備と活用の促進。</li> <li>○体験的活動やデュアルシステム型実習など、感染症対策を講じながらの活動の継続。</li> </ul>	I ニーズに応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 様々なICT機器を活用したアクティブラーニングの実践</li> <li>② ICT環境の充実と、教材データ化による指導の充実</li> <li>③ 発達段階に応じた教育課程による小中高一貫性のある実践</li> <li>④ 体験型学習やデュアルシステム型実習の積極的活用</li> </ul>	C
<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な状況を想定した避難訓練の実施。</li> <li>○感染症対策が定着し、様々な対策を講じた上での学習活動の継続。</li> <li>○PTA行事「あそびスクールさかたくフェスタ」の実施。</li> <li>○11月のWeb学校公開を中心に、ホームページの充実。</li> <li>○作品交流やオンライン交流等のコロナ禍での交流活動の実施。</li> </ul>	II 安全安心な学校作りの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 児童生徒の心身の健康を図る保健安全、食育指導の実践</li> <li>② 施設・設備の点検改修による安心安全な環境作り</li> <li>③ 感染症のガイドラインに基づく持続可能な学習環境作り</li> <li>④ PTAや地域と連携した大災害時の防災体制の確立</li> </ul>	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTの活用に関する研修の充実と教員のスキル向上。</li> <li>○VTRによるオンデマンド研修など、研修の内容の充実によるコンプライアンス意識の向上。</li> <li>●教員一人一人の専門性の向上のためのICTに関する段階的な研修の継続。</li> <li>●進歩的、体験的な学習実現のための創意工夫。</li> </ul>	III 地域の連携とセンター的機能推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域・小中高との交流推進や地域行事への積極的参加</li> <li>② 地域のセンター的機能としての支援の充実</li> <li>③ 外部団体や地域資源を活かしたPTA活動の充実</li> <li>④ 学校教育活動の公開やHPを利用した情報発信</li> </ul>	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>●実際の災害有事を想定したより実践的な訓練の実施と機能する体制の確立。</li> <li>●特別支援教育の専門家としての本校からの情報発信として持続可能な支援内容や支援方法の検討。</li> <li>●より機能的で成果がある地域との連携方法の検討・提案。</li> <li>●日常のヒヤリハットやケガ等の事案検討による命や大けがに関わる重大事故につながらない対応検討。</li> </ul>	IV 教員の意識向上のための研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 教員が学び合うための現職教育の充実</li> <li>② 特別支援教育の専門性を高めるための研修</li> <li>③ 児童生徒同士の健康や安全を守るための研修の実施</li> <li>④ 教員コンプライアンス意識を高めるための研修</li> </ul>	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営管理教育計画	・安全安心な学校作りの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による研修を行い、食育指導の基礎を学ぶ機会を設定する。食べる機能に関するチェックリストを用いて、食形態や食べ方の実態を把握し、安心安全な給食の提供と食事指導を実践する。</li> <li>・校内の衛生環境維持と感染症の未然防止・拡大防止に努めるため、うがい・手洗い・歯磨き・性教育等さまざまな保健指導を行うとともに、教室環境の定期的な確認を行う。</li> <li>・学校事故を未然に防止するため、ヒヤリハット事例報告の収集を行うとともに、緊急時に迅速な対応がとれるための職員研修を実施する。</li> <li>・さまざまな災害を想定したシェイクアウト訓練や避難訓練、関係機関と連携した職員研修等を行う。</li> </ul>	II-①② ③④ III-④ IV-③	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門家による研修会や食物アレルギー、異物混入への対応など、情報を共有して安全な給食の提供に努めた。</li> <li>○ヒヤリハットの書式を整理し、書きやすい雰囲気作りに努めることで自発的な報告が増え、情報を共有することができた。</li> <li>○様々な想定避難訓練やシェイクアウト訓練、VR体験、Pepperによる出前授業等を実施し、災害時に適切な行動がとれるように防災意識の向上に努めた。</li> <li>●地域やPTAとの連携</li> <li>◇保護者アンケートの実施と地域との連携強化を図る。</li> </ul>
教職員の育成及び指導・監督	・授業づくりの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画をもとにした目標設定、学習評価を円滑に行うための職員研修の充実を図る。</li> <li>・各学部の発達段階に応じたキャリア教育を実践するため、年間指導計画の精査を行い、学部間の系統性を確保する。</li> <li>・児童生徒の学校生活をより一層充実できるよう、セラピスト訪問等を適宜活用し、課題の早期対応に努める。</li> <li>・小学部、中学部、高等部で系統性のあるキャリア教育を進め、学年やコースにとらわれずに柔軟な就業体験ができる体制を整える。</li> <li>・タブレット端末、電子黒板等のICT機器を活用し、児童生徒一人一人の主体的な学習活動を促し、より効果的な授業を実践する。</li> </ul>	I-①② ③④ IV-①②	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研究では、授業改善研修に学校全体で取り組むことで、育成を目指す資質能力を踏まえた授業を実践することができた。</li> <li>○授業において情報の視覚化等ICTを効果的に活用し、児童生徒の学習意欲を引き出し、わかりやすい授業を進めることができた。</li> <li>●教育課程再編成後の確認と評価</li> <li>◇実施状況と評価、改善をRPDCAサイクルに基づいて学校全体で取り組む。</li> <li>●系統性ある年間指導計画の作成</li> <li>◇各学年の年間指導計画の精査を行い、学部間の系統性と確保する。</li> </ul>
対外活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さかたくインクル」切れ目のない支援の充実として地域の連携強化を図る。</li> <li>・交流及び共同学習の対面での直接交流の再開を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域内の市町教育委員会、小中学校（59校）を校長とCoが訪問し、特別支援学校のセンター的機能と特別支援教育地域連携協議会の説明を行う。</li> <li>・「さかたくインクル協議会」を開催し、地域の特別支援教育の現状と課題について話し合い、教育的ニーズを把握する。</li> <li>・小中学校教職員を対象に定期的な研修会や相談会、授業見学や事例発表、教材教具の紹介を行う。</li> <li>・「さかたくサポーター」との地域交流、学校間交流及び居住地校交流において、意義や目的を互いに理解し合い、学習の内容や進め方などについて十分に連携を図りながら進める。</li> <li>・「交流教育マニュアル」を作成し、実施までの流れ、交流内容、支援の仕方について、指導や支援の効果が高まるよう校内で共通理解を図る。また、感染症対策を講じての交流活動を実践する。</li> </ul>	I-② II-③ III-①② ③④	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「さかたくインクル協議会」の開催により、通学区域小中学校の特別支援教育に係る現状や課題を把握することができた。</li> <li>○研修会や学校公開、職員の体験研修等を実施し、小中学校との積極的な連携に基づいてセンター的機能の強化を図ることができた。</li> <li>○地域交流や学校間交流等の活動を直接実施することで他者と関わる機会を設けることができ、社会性や主体性を育むことができた。</li> <li>●地域とのネットワークづくり</li> <li>◇コミュニティ・スクール導入準備や学校安全総合支援事業の実施。</li> <li>●就学前の幼児等への支援</li> <li>◇市町教育委員会等との連携を図り研修会や相談会等を実施する。</li> </ul>

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない